

▼女性の悲哀

原作脚色並監督者
最形者 帝キネシ屋現代映畫
大森勝氏 脚本 桑一郎氏

原作脚色並監督者
撮影者

帝キ
宵屋現代映畫

主要報告

松葉子 山本正雄
石田進 朱雀麗子

秋山良平 満喜子 美子 山田千吉 春津田 豊作
みどり嬢 君子嬢 芳川氏

解説――『銀色』に於て大森勝氏が監督製作した現代劇である。



眞寫「女性の悲哀」帝キネト森勝氏作品。主演者の歌川八重子嬢。

道を求めてカブエーに働いた。然しそれが却つて彼女に福して其處の常連石田の爲め彼女の酒場に彼女の姿を見られるやうになつた。かくて彼女は或夜多くの無賴の徒に追はれた若者を庇はれたが山本正雄意外に過ぐる日本公開で危難を救はれたが山本正雄であった。二人が喜遇を喜ぶ時再び現はれた怪漢の爲めに山本を庇つて葉子は鐵拳の乱打を受けた。やがて曲者は警官に捕へられたがその後山本は葉子の傷み睨んで二人の樂い小語が病院の綠蔭から洩れるやうになつた。彼女は正雄によつて始めて男性の愛を知りそしてそれから生れるものが眞の藝術たと悟つたのである。